

岩手を耕し、希望のタネをまく

岩手県議会議員（滝沢選挙区）

松本たけし



県政報告

令和7年
4月22日発行

No.4

発行 松本たけし事務所

〒020-0663 岩手県滝沢市鵜飼諸葛川1-15

TEL / FAX:019-684-4000



HP



Instagram

● 令和7年度の岩手県一般会計当初予算

7,329億円

前年比7億円
(0.1%)増加

令和7年2月定例会（2月14日～3月25日）において、**令和7年度岩手県一般会計当初予算7,329億円**が慎重審議の結果、可決されました。

ただし、急激に進む人口減少と物価高騰等により、地域経済・県民生活をめぐる情勢はとても厳しく、**若者定着やジェンダーギャップの解消の一層の促進、県立病院の経営改善、中小企業及び農林水**

産業者への支援強化、知事の政務秘書の透明性の確保等にかかる付帯意見が付されました。

人口減少は、**あらゆる社会システム（社会保障（医療・年金・福祉）、公共インフラ、教育、産業等）の持続可能性に影響**を及ぼし、将来に大きな影を落としています。

▲ 20,000人／年のペースで人口が減少しています！

岩手県人口のピーク時（1960年代）は約145万人。

2024年は約114万人と、ピーク時より盛岡市ひとつ分以上の減少となっており、成り行きでは減少の加速度が増していく見込みです。このペースで進行すれば50年後に岩手県は・・・

今後の人口動態を推測した場合、**人口減少を前提とした社会構造の再構築に直面せざるを得ない**と考えます。だからといって、悲観的な話ばかりをしていてもしょうがありません。

今を生きる我々にできること、我々がすべきことがあります。

次の世代に対する責任があります。

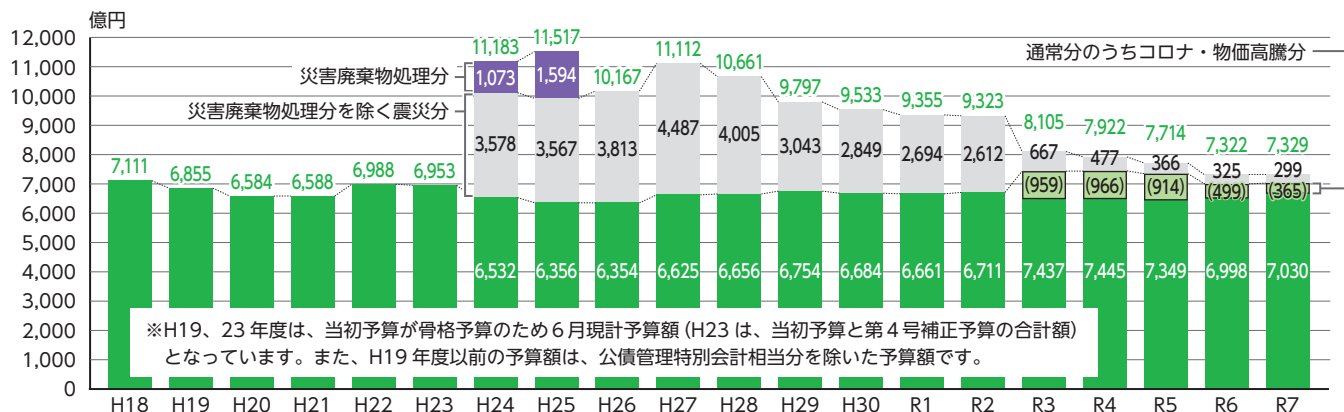
生産性の向上のためのDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進と、岩手の優れた自然環境を生かした地域経済と環境に好循環をもたらすGX（グリーン

トランスフォーメーション）の推進等を強力にはかり、特に**若者・女性定着、地域に根差した産業の振興、都市部との賃金格差の是正等の重要課題に注力していく必要**があります。

まだ見ぬ世代にこの誇りある岩手・地域をしっかりとつないでいくため、**県の重要施策の事業効果等の検証を行うとともに、皆様方の声をしっかりと聴き、県政の足らざる部分を補完し岩手を前に進めるための政策提言等に一層精進してまいります。**

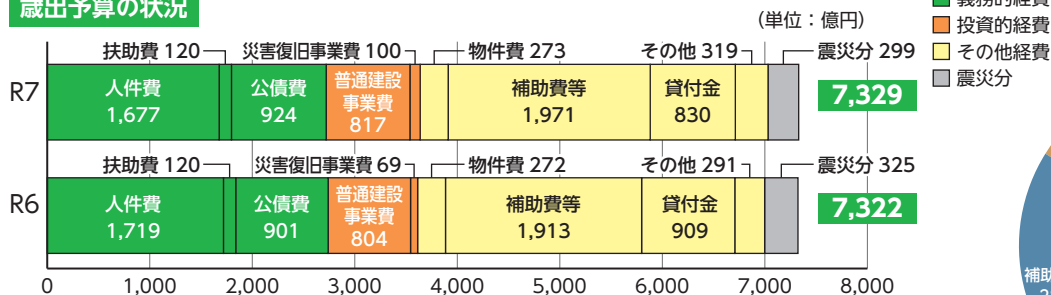
令和7年度一般会計当初予算の概要

● 当初予算額の推移

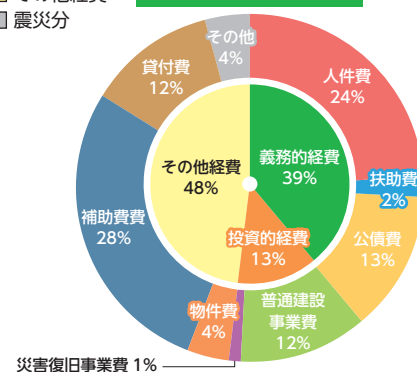


● 歳出予算のポイント

歳出予算の状況



通常分における性質別予算の内訳



震災分 中小企業東日本大震災復興資金貸付金が減少したこと等により、全体で25億円減少しています。

- 義務的経費は、退職手当の減等により、19億円減少しています。
- 投資的経費は、災害復旧事業（国道107号等）の増等により、44億円増加しています。
- 物件等は、参議院議員選挙執行費の増等により、1億円増加しています。
- 補助費等は、地方消費税交付金の増等により、58億円増加しています。

● 令和7年度一般会計当初予算における主な取組

ポイント POINT

復興の着実な推進とともに、人口の自然減・社会減対策（地方創生）を主軸にしながら、ジェンダーギャップの解消など一人ひとりの生きにくさを生きやすさに変える取組を進めることで、お互いに幸福を守り育てる、世界に開かれたいわてを創っていく。

4つの重点事項 R6:840億円 → R7:916億円(うち新規分16億円)

1 自然減・社会減対策 R6:221億円 → R7:228億円

- 一人ひとりの希望に基づく多様なライフステージに応じた支援を強化し、
- 性別にかかわらず誰もが活躍できる環境の整備
- 結婚・子育ての支援
- 移住定住、インバウンド観光・輸出の強化による交流人口拡大 等を推進

2 GXの推進 R6:93億円 → R7:97億円

- 岩手の優れた自然環境を生かし、
- カーボンニュートラル
- 地域経済と環境に好循環をもたらす持続可能な新しい成長
- 気候変動への適応 等を推進

3 DXの推進 R6:51億円 → R7:64億円

- 岩手県DX推進計画に基づき、
- 行政、産業、社会・暮らしのDX、DXを支える基盤整備
- DXによる地域課題の解決 等を推進

4 安全・安心な地域づくり R6:476億円 → R7:528億円

- 災害、感染症、交通事故や犯罪などあらゆるリスクへ包括的に対応するため、
- 防災・減災の主流化（災害への備え）
- 感染症・家畜伝染病への対応
- 日常生活のリスク低減 等を推進

※複数事項にまたがる事業については、重複して事業費を計上

令和7年度予算関係資料については、
岩手県HPのトップページより、県政情報 > 予算 > 予算 > 令和7年度予算関係資料 に掲載されています。
(<https://www.pref.iwate.jp/kensei/yosan/yosan/1077880.html>)



令和7年2月定例会予算特別委員会において、会派（自由民主党）を代表して総括質疑をさせていただいたほか、各部局に対しましても質疑・提言を行いました。主な内容は以下のとおりです。

Q は、松本の質問。 **A** は県当局の答弁です。

保健医療計画の見直し等について（総括質疑にて）

Q 県立病院等事業会計の令和6年度決算は80億円を超える巨額の赤字見込み。令和7年度も約35億円の赤字計画であるほか、資金ショート回避のため新たな病院事業債45億円の借入に迫られている。

については、保健医療計画における二次医療圏の見直しやそれを踏まえた基幹病院の統合整備を決断しなければならない時期が来るものとするが、今後どのように検討を進めていくのか知事のお考えを伺う。

A 疾病・事業別医療圏については、令和11年度に策定を予定している次期保健医療計画において、現計画期間内の患者動向や医療資源等、医療を取り巻く環境の変化に応じた範囲として改めて検討を行う予定としている。

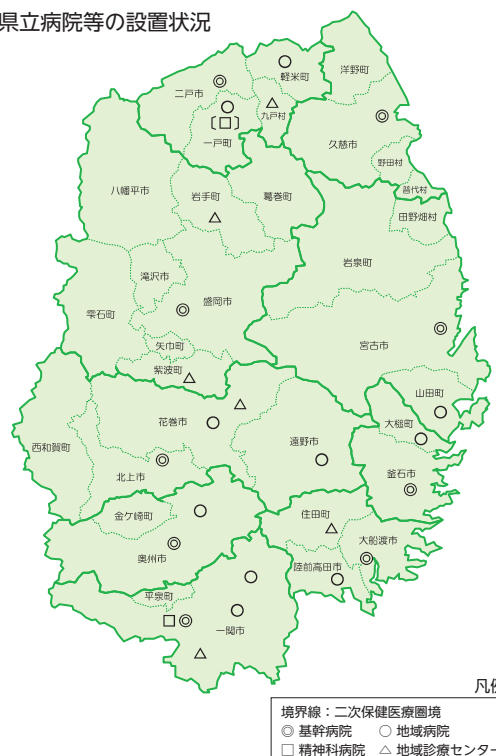
県立病院については、保健医療計画の見直しや、患者動向の変化等各圏域における医療環境の状況を踏まえた体制の整備を総合的に検討していく。



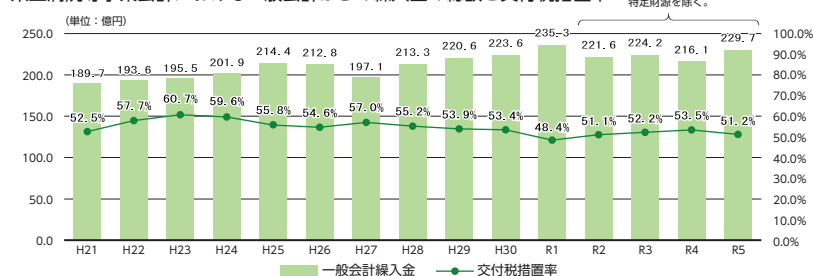
松本のお考え

- 地方における自治体病院はどこも医療財政と医療介護従事者の確保が大きな課題であり、今後さらに在宅医療、介護との連携等に重きが置かれるとともに、県立病院においてはさらなる機能分化と連携強化が求められていくものと考えます。
- 県民への「良質な医療提供」とこれを支える「持続可能な病院経営基盤の確立」の両立には困難な課題が多くありますが、特にも統合整備等には丁寧な説明と議論の積み重ねが求められることから、保健医療計画の中間見直し（令和9年）等も踏まえ、よりオープンな協議を早期に前広に進めていく必要があると考えます。

県立病院等の設置状況



県立病院等事業会計における一般会計からの繰入金の総額と交付税措置率



農業振興に係る財源確保について（総括質疑にて）

Q 人口減少を起因として、かなり厳しい本県の財政見通しの中、今回のビジョン案に示している施策や新たな施策の実践に向けて、攻めの農業振興にかかる財源の確保ということをどのように考えているのか知事の考えを伺う。

A 今後、農業振興も含め新たな施策展開を図っていく上で、それを担保する財源の確保は不可欠であると考えている。引き続き、様々な選択肢を検討の俎上に乗せながら、あらゆる手法により、継続的かつ安定的な財源の確保に努め、必要な施策を展開していく。



＼ 松本の考え ／

- 我が国においても岩手においても、今まさに農業の大転換期であり攻勢をかけるべき時です。県では農業ビジョンで重点施策を検討中ですが、実効性あるものとするには裏付けとなる財源の確保が重要です。
- 岩手の強みである電気事業会計のポテンシャルのさらなる発揮や、ふるさと納税等に注力のうえ歳入を増やし、産業振興のための財源確保を積極的に検討すべきと考えます。

滝沢市 IPU イノベーションパークの拡張等について（部局審査にて）

Q 現在、当該パークには 28 社もの企業が立地するなど、IT 関連企業の一大集積地として定着したことを受け、滝沢市から隣接地への拡大の意向が示され、パークの拡張の必要性を盛り込んだ新たな運営計画を昨年 3 月に策定したところ。運営計画策定後、パークの拡張および拡張後を見据えた企業誘致について、県はどのような具体的取組等を行っているのか伺う。

A パークの拡張にあたっては、産学連携と IT を軸とした幅広い企業の開発拠点化に向け、県立大学との連携等に取り組む企業の立地を促進する機能などを整備していく方向で、さらに検討を進めている。

企業誘致については、東京などで開催した企業誘致イベント、それから首都圏等のソフトウェア開発企業と県内企業のビジネスマッチングなどを行っている。

滝沢市 IPU イノベーションパーク



＼ 松本の考え ／

- 岩手県立大学創設の意義、パーク整備の経緯等を踏まえれば、県は力強いリーダーシップのもと、パークの活性化とそこを中心とした地域産業の拠点化・高度化により積極的に取り組んでいくべきと考えています。そして、そのことにより県央以北、近隣市町への経済効果の波及も期待できます。
- 是非とも県の強いリーダーシップのもと、IT 関連企業へのトップセールスや、県としての優遇措置の検討、パーク企業に就職する学生への支援、雇用奨励等について検討すべきと考えます。

予算特別委員会においては、そのほかに主に以下のことを質疑・提言しました。

1

不登校対応にかかるスクールソーシャルワーカー（SSW）の役割発揮

不登校児童・生徒数の増加（岩手県内小中高計 R5：3,052 人）が大きな社会問題となっている。教育現場における先生の過重労働の問題等もあり、一人でも多くの児童の悩みに寄り添っていくため、SSW に求められるところは大きい。かかる役割を担う SSW の処遇改善について



2

就労継続支援事業所（A型・B型）への支援

障がい者に貴重な就労の場を提供している就労継続支援事業所（A型・B型）の運営が報酬改定や人件費・物価上昇等に伴いとても厳しくなっている。生産活動への支援や施設外就労の場の確保に向けた需給マッチング支援等について



3

岩手県企業局による電気事業会計（水力発電等）のさらなるポテンシャル発揮

当該会計は、毎年安定した利益を計上している。より積極的な調査および発電施設の開発、GX のさらなる推進と県財政への還元（一般会計への繰出）について



4

中小企業をはじめとした商工指導団体への支援の継続・強化

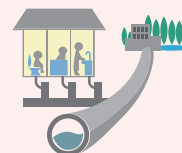
商工指導団体への補助額についてトータルでは減少している。中小企業をはじめとした商工指導団体への支援の継続・強化について



5

流域下水道事業

北上川・磐井川流域 10 市町 54 万人程度が利用している流域下水道事業について、電気代の値上がりや資材高騰により令和 6 年度は赤字に転落する見通しのほか、施設の老朽化対応等課題が山積している。維持管理コストは関係市町の負担となるが、県としての経営努力と関係市町との合意形成のあり方について



その他、緊急に開かれた災害対策連絡本部会議において大船渡市赤崎町林野火災（2/26 発生）に伴う被災者のなりの再生支援についても質疑・要望を行いました。



松本たけしの
基本的な考え

皆様一人一人に大切なものが多くありますが、私が大切に思っているものは、「農業・福祉・教育」です。ただし、現下の社会・経済・産業構造上、「農業・福祉・教育」のみが発展・充実することはありません。

本県の基幹産業である第一次産業（農業・水産・林業）はもとより、中小企業、地場産業等既存産業への支援強化、次世代産業の誘致・育成、県内産業の均衡ある配置、ということを基本に、産業基盤をしっかりと築き・発展させ、**県民所得の向上をはかることに優先度・重要度高く取組み**、その果実をしっかりと**県民福祉の向上**につなげていく必要があります。

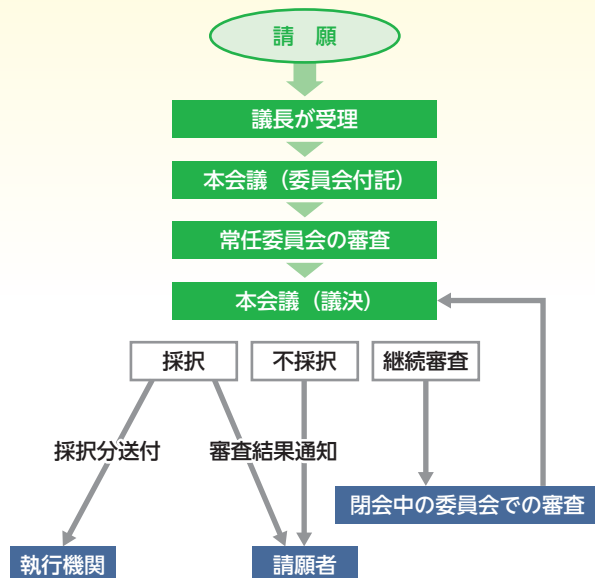
経済と福祉の好循環

「経済と福祉の好循環をつくる」。その先に私の思い描く「農業・福祉・教育」の発展・充実もあるのであろうと考えています。私の質疑・提言の根底にはこの考えがあります。

県議会の仕組み 一口メモ

県議会に対する「請願・陳情」について

- ➡「請願」や「陳情」は、県民の皆さんの御意見や御要望を県政に反映させるための大切な制度です。
「請願」には、県議会議員の紹介が必要であり、議会では議案と同様に審査が行われます。採択されますと、県議会として意見書を発議し、関係機関に要望等を行います。
- 「陳情」は、議員の紹介がなくてもでき、陳情する事項がとりまとめられた上で、各議員に配付されます。
- ➡詳しくは、県のHPにある「請願・陳情の御案内」をご覧ください、岩手県議会事務局議事調査課議事管理担当 (019-629-6016) までお問い合わせください。



保護犬活動 について

10年ほど前から保護犬を家族に迎え入れておりまして、今は2代目・3代目ですが、先代含めいつも我が家の支柱的存在であり、私の癒しです。

人にも犬にも命は平等に1個しかなくとても大切なものです。その命を通じて、当たり前の何気ない日常が、かけがえのない大切な日常であることを教えてください。

皆様方も可能な範囲内で、保護犬活動をご支援いただければ幸甚に存じます。



松本たけしは、これからも県民・現場目線で、未来志向で県政に取り組んでまいります。いつでも何なりと皆様方の声をお聴かせください。

松本たけし プロフィール



昭和47年7月1日生
平成3年3月
平成7年3月
平成7年11月～令和5年3月
平成21年～現在

- 家族構成
- 趣味
- 大切にしている言葉
- 岩手県議会
- 自民党岩手県支部連合会

西和賀町(旧湯田町)に生まれ幼少期から高校卒業まで北上市で過ごす
岩手県立黒沢尻北高等学校 卒業
東北大学農学部農業経営学科 卒業
岩手県農業協同組合中央会(在職期間27年5か月)
岩手県滝沢市鶴飼 在住

妻、長男、次男、三男、犬2匹
山歩き、家庭菜園
至誠にして動かざる者は未だ之れ有らざるなり 全体は部分の総和に勝る
農林水産委員会、県政調査会、議会改革推進会議
副幹事長・政務副会長

ご意見を
お寄せください

松本たけし事務所

〒020-0663
岩手県滝沢市鶴飼諸葛川1-15
TEL / FAX : 019-684-4000
e-mail : matsumoto1@takeshi-m.com



HP



Instagram